

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	朝日村に朝日将軍木曾義仲を訪ねる事業
事業主体 (連絡先)	朝日村 朝日村役場 TEL (0263) 99-2001
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業 (6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	475,200円 (うち支援金: 316,000円)

事業内容

木曾義仲にゆかりのある光輪寺と義仲公園に「巴松」を植樹し、そのいわれを記した由緒看板を設置する。

村内および近隣にある木曾義仲ゆかりの史跡を、朝日村史談会会員の解説により巡るバスツアーを行う。



バスツアーで「巴松」の解説を聞く

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 普段、車で近くを通ることはあっても、なかなか足を止めることのない史跡を巡ることで、埋もれていた義仲ゆかりの史跡に光を当てられた。
- ② 子どもや学生などの参加はなかったが、40～50代の参加が2割ほどあり、70～80代の史談会員の解説を聞く貴重な機会が作れた。
- ③ 新聞・村ホームページ等に史跡巡りバスツアーの募集案内を掲載したため、村外からの参加者も3割ほどあり、今回の事業で植樹した「巴松」とその由緒を広く紹介することができた。バスツアーには目標の30名を上回る32名の参加者があった。

【目標・ねらい】

- ① 村内の木曾義仲にまつわる史跡の認知度を高める
- ② 木曾義仲の歴史・伝説を語り継ぐ後継者の育成
- ③ 新たな観光スポットのPR

※自己評価【 A 】

【理由】

史談会の協力で「巴松」の由緒を後世に遺すことができ、木曾義仲に地元の人々の関心を集めることができた。また、木曾義仲の研究を続けてきた朝日村史談会の研究結果を広く知ってもらう機会にもなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

木曾義仲ゆかりの史跡を、その伝説と共に後世に伝えていけるよう環境の保護・整備に改めて努める。史跡の活用につながるようなイベントを、他の機関とも連携をとりながら積極的に企画していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある